

平成 26 年 7 月 31 日  
東京ガス株式会社

2014 年第一四半期 決算説明会  
主な Q & A

- Q 1 : 今期(第一四半期)の電力事業の販売量は前年と比較してどうか。
- A 1 : 発電所においては定期的、または一定運転時間ごとに点検が実施され、当該期間は操業が停止する。2014 年第一四半期と 2013 年第一四半期を比較すると、定期点検の期間が昨年の方が長かったため、これを主な原因として販売量が 26.2%増加した。
- Q 2 : 今期、鹿島地区以外の一般工業用需要が対前年で減少した要因は？
- A 2 : 業種別の販売量増減では窯業と紙パルプでの減が大きいが、全般としては景気回復が実現しなかったものと考えている。
- Q 3 : ガスシステム改革に対する御社のスタンスは？
- A 3 : 全体としてガスのシステム改革は積極的に受け入れる方向である。但し、今後、個別の制度設計が議論されるなかで、ケースに応じて当社としての意見を発信していく。

以 上